

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	農業施設維持管理事業			事業コード	1751
所属コード	155000	課等名	[玉山] 建設課	係名	建設グループ
課長名	水澤 豊彦	担当者名	米田 豊	内線番号	4400-231
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画 体系（旧）	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生産基盤の整備	コード	2
予算費目名 (H26)	一般会計 6 款 1 項 5 目 農業施設維持管理事業（004 - 01）			
特記事項 (H26)				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	不明/年度
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

農業農村の生活，生産基盤である農道及び農業施設の維持管理を行うもの。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

農業農村の生活，生産基盤である農道及び農業施設の維持管理を行うため。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

老朽化に伴う整備及び大雨等気象環境に伴う補修が増大していくと考えられる。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 対象（誰が，何が対象か）

農道，農業施設（玉山区内）

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 農道管理路線数	本	10	10	10	10	10
B 農業施設補修箇所	箇所	1	0	0	1	1
C						

(3) 26 年度に実施した主な活動・手順

農道除雪，農道等施設維持管理，農道用原材料支給

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 農道除雪路線数	本	10	10	10	10	10
B 農業施設補修箇所	箇所	1	0	0	1	1
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

安全に快適に利用できるように努める。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 農道除雪率	☐ 上げる ☐ 下げる ☒ 維持	%	100	100	100	100	100
B 農業施設補修完了件数	☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持	件	1	0	1	2	1
C	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 計画	26 年度 実績
事業費	①国	千円					
	②県	千円					
	③地方債	千円					
	④一般財源	千円	4,187	3,406	3,394	5,280	4,328
	⑤その他()	千円	0	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	4,187	3,406	3,394	5,280	4,328
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
計	トータルコスト A+B	千円	8,187	7,406	7,394	9,280	4,328
備考							

3 事務事業の評価（See）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

事業により生産基盤の整備が図られるため結びついている。

② 市の関与の妥当性

市が管理する施設であり維持すべきものである。

③ 対象の妥当性

市が管理する施設である。

④ 廃止・休止の影響

生産性が低下する。また、重大な事故が発生する恐れがある。

（2）有効性評価（成果の向上余地）

成果として維持することが目標であるため、向上の余地はない。

（3）公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

特定の受益者は、いない。

（4）効率性評価

全ての改修整備に対応できていない現状から、事業費削減は困難である。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	農林業の振興	コード	21
	小施策（推進項目）	生産基盤の整備	コード	2

（2）改革改善の方向性

緊急度や重要性を考慮して、現状維持する。

（3）改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

玉山区制終了後の事務事業の継承。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- ☒ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☐ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

- ・ 農業生産の基盤である農道及び農業用施設の維持管理について，緊急性や重要性を考慮して行った。
- ・ 維持管理の事業費を確保しながら，緊急性・重要性を考慮して継続する。